

11月11日～12月12日
電池月間



でんち

社団法人 **電池工業会**

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8
機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)

E-mail: bajapan@hi-ho.ne.jp

ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

振替口座 東京8-91022

発行人 木村侃丘

定価1部郵送による年決め2,400円

平成14年11月1日

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

平成14年度第3回一次電池部会開催

平成14年10月22日、機械振興会館において河瀬部会長（松下電池工業（株））を議長に、平成14年度第3回一次電池部会（出席者21名）が開催された。

冒頭、河瀬部会長から挨拶があり、続いて木村専務理事から事務局報告、各委員会から10件にのぼる活動報告と討論が行われた。



1. 部会長挨拶

9月で上期が終了したが、8月までの販売実績は数量ベースではまずまずであったが、金額では前年を下回る結果になっている。また、輸入乾電池の伸びが著しい上、下期の需要見通しが厳しくなっており頑張っていかなければならない。

2. 事務局報告

1) 廃棄物処理法を変えてゆく動きになっている。不法投棄などへの対応のため規制は厳格にする一方、許可申請は合理的にという方向である。規制が強化される面では、従来有価物として扱ってきた物も、全体的に見て廃棄物の色合いの強い物は廃棄物とみなされるようになる。

2) 輸入乾電池が急増しており、20%に達する勢いである。販売価格への影響も考えられ重要課題になっている。

3. 委員会報告と審議

1) 中国訪問の報告

*理事会の要請で、互惠精神の確保を主目的に訪問

*中国には三つの電池関係の工業協会があり、そ

の内容について報告

*工業協会には外国の現地会社も加入できる

*政府と会員の橋渡し業務や、偽物電池に対する対応が主たる役割である

*今後生産量等に関する情報交換や、環境対策に関する協力が課題

2) NEMA（全米電気製造業者協会）への対応状況
米国のボタン電池飲み込み事故に対する協力の件については、本件対応ワーキング・グループで取り纏めた内容で回答している。

3) 技術委員会

*ボタン電池への水銀添加量を大幅に減らした状況の報告

*IEC、JIS原案の検討状況の報告

4) 広報委員会

*「手作り乾電池教室」、「でんちフェスタ」の開催などの活動状況報告

*小形充電式電池リサイクルキャンペーンの広報活動報告

5) 業務委員会

平成14～15年の乾電池需要予測について報告

6) PL委員会

携帯電話用簡易充電器の、設計不具合による短絡事故、十一逆接続による破裂事故例、アルカリ乾電池の充電器に関する問題の報告

7) 資材委員会

取引先の倒産など、リスク管理をテーマにした取り組み状況の報告

8) 循環技術委員会

乾電池の処理技術について、既存処理会社、新処理システム導入自治体、ダスト製錬炉による処理会社等の見学と、得られた情報の報告

9) (財)日本環境衛生センターにより行われた「経済的負担措置等導入基礎調査」の内容と問題点についての中間報告

講習修了考查合格者

大阪・東京会場分

電池工業会は、9月25・26日大阪府、10月2・3日東京都で開催した、蓄電池設備整備資格者講習の修了考查に合格した者の氏名を発表した。

合格者(合格率)は、136名(90.1%)、189名(88.3%)であり。合格通知は直接本人に通知される。

<大阪府>

犬塚幸博、堀 陽浩、永野 修、寺畑 勇、綾仁俊之、山田伸一、鹿真康弘、村上邦彦、横野俊彦、鳥屋尾慎二、赤澤亨悟、二見奉久、千木康弘、上笹貫邦秋、原田洋一、園元輝之、縫 雅之、金物谷守、栗津忠夫、柘 敏明、福井文雄、浅野健一、百田 正、二村 徹、今井克典、川崎重信、北之原雅樹、菊岡義和、金山敏之、土屋孝弘、寺元淳人、畠中勝己、東 大介、吉岡俊樹、水田治彦、三河 誠、長濱康郎、松永 茂、辻田勝久、由井竜一、山崎道昭、西川健次郎、逸見 悟、掛戸好宏、北野光彦、石川謙治、藤原忠廣、森戸 栄、宇津貴寛、田中道矢、樋口 晃、木津 優、大橋亀美雄、高野 諭、守本 悟、森尾俊明、稲葉真一、安川和典、増田明德、横矢達人、吉田栄幸、余膳英樹、竹下慎吾、清水雄司、飯山栄二、岩垣秀三、西村 修、古川 誠、長尾貴広、繰谷和広、甲斐辰彦、石山貴裕、坂根浩司、奥田一彦、井本晴也、小野雅弘、岡部久司、藤田眞佐夫、西園 学、田辺浩志、工藤 幸、湯澤博樹、堀 洋志、石井義澄、丹下和則、北原克幸、岸田信輝、高杉亮弘、前山秀幸、栗田 昇、中村勝敏、古田 昇、佐々木健浩、東野 功、松浦賢侍、宮田正人、田中俊彦、宗広亨樹、魚住 博、三坂博昭、島田和弘、奥地隆宏、東 信良、城戸隆寿、西田成寿、三上哲也、佐野幹雄、金村 実、橋本 豊、廣橋雄二郎、星野正博、荒川剛毅、矢萩重義、木又孝徳、岩田政司、新留弘志、松永克洋、照本浩貴、山門幸宏、深尾俊之、佐々木正好、岸本文仁、小塩世治、榎 誠、堀田経夫、山下 敦、伊藤義己、青山高志、黒田昌稔、俵原幸雄、杉本学嗣、井内一典、長谷川 伸、阪口 正、津田 治、延崎史郎。

<東京都>

古川和俊、安藤雅行、小林照明、宮崎正毅、松岡諭吾、渡邊俊文、溝本和嗣、河上祐介、鈴木正史、中田 昇、宮原忠和、堀内勝彦、小金井裕三、栗原大作、森田裕人、各務健一、曳田耕児、立川 勝、奥田 勝、谷島恒雄、金井一雄、西田正之、宮本成章、太田幸男、佐藤宣行、田邊絃一、岡本智弘、阿部 周、横山 保、北川禎文、小宅章夫、市川和弘、高岡康信、川村晃司、榎本進一、白石晴之、常盤定志、菅原智宏、菅野晃範、大沢俊治、岩淵 治、中谷 朗、木内章彦、小保方利幸、内藤和信、池田カヲル、矢崎秋夫、柴田和彦、福士明敏、渡辺政行、大池末廣、神永 平、関場 純、宮崎徹治、猪瀬 淳、小堀久男、國武賢太郎、横山俊和、中園潤一、佐藤浩司、宮下陽司、岸本正行、加藤寿次、並木正和、重川孝志、山崎博正、大串明弘、樋口清隆、鶴澤 玲、吉田量幸、下村朋史、東泉和夫、松尾 雅、関根 繁、友寄隆良、吉沢大介、井出浩氣、山本貴生、古河浩明、柏木崇男、佐藤万寿治、倉島健一、矢部 亨、初見雄一郎、鏡宮達己、村橋敏彰、井口修男、浅田智之、大谷 茂、中島英隆、菊池嘉行、渡邊敏弘、横尾午良、小林弘二、佐々木博幸、小松田伸一、五十嵐 康、若林文雄、薄井 清、真間幸広、松田俊彦、山本郁夫、小俣良夫、金杉哲也、福永一也、佐々木忠昭、厚見 謙、松本 純、柿沼芳治、原 敦司、山川治美、望月身起男、高橋保美、松田 毅、清水謙治、大館重雄、高橋洋智、田中和幸、直井信治、鈴木俊宏、逸見慎一、傘木和広、渡邊千明、檜山 清、仲間幸春、長島 正、南橋智治、伊藤善雄、谷本芳功、天野一巨、佐竹英樹、井上英明、本庄雅樹、渡部良貴、金井正巳、勝野新太郎、長岡康男、武田貴史、民本英則、藤代 哲、押川輝和、安川友和、関田友洋、原 健次郎、平生正弘、村田幸雄、永嶋史夫、堀 孝治、志村高央、橋村則彦、中村博之、長田作伊、池田秀幸、宮前乃士、山坂正悟、武藤久雄、中村敏夫、菅家和男、本山達男、関野高師、菅野文雄、赤坂 誠、山田政明、檜垣茂利、鈴木研志、川向孝知、山本 茂、関口五生、降旗淳司、浅川俊美、佐藤貴史、原 裕俊、荻野三良、溝淵恵一、赤平真吾、中山史裕、萩原達男、橋川英広、堀口 健、渡部恵道、坂下一也、原 一史、小野寺将治、鈴木貴之、鈴木智博、牛腸 毅、篠田 友、酒井健一、飯島 健。

2002 オータム・イベントで広報活動

秋の各種イベント・展示会に、電池工業会も首都圏を中心に出席参画した。一般消費者をターゲットに「電池の正しい上手な使い方」「バッテリーの液面点検」「早めのバッテリー交換PR」「小形二次電池回収リサイクル」などを主要テーマとした広報活動に広報委員会、関連委員会、工業会事務局、小形二次電池再資源化推進センターなど、総動員で展開した。



○NEW環境展(大阪)

9/4~7 インテックス大阪

主催:日報

活動:小形二次電池広報ワーキング・グループ
小形二次電池再資源化推進センター



○交通安全フェア

9/21~22 東京ドームシティ

主催:内閣府

活動:二次電池広報ワーキング・グループ



○自動車点検フェスティバル

9/28~29 池袋西公園

主催:国土交通省

活動:技術サービス、二次電池PL各委員会



○CEATEC JAPAN

10/1~5 幕張メッセ

主催:CIAJ、JEITA、JPSA

活動:総合広報委員会



○東京モーターショー(商用車)

10/29~11/3 幕張メッセ

主催:社団法人日本自動車工業会

活動:二次電池広報、PL、リサイクル、
技術サービス各委員会

業界動向

***東京工業大学** リチウムイオン電池に使う電解液中のリチウムイオンの移動速度を百倍に高める手法を開発した。
(9月3日付 日経産業)

***トヨタ&日産** 地球温暖化に実効性が高いと目されるハイブリッド(HV)技術の提携を発表。世界の自動車業界に与えるショックは大。(9月3日付 日刊工業)

***野村興産** アジアで集積されている水銀含有蛍光灯や水銀吸着活性炭の最終処分など、水銀の回収・再資源化事業の拡大を加速へ。(9月3日付 電波)

***新日本石油** 2004年度を目処に、燃料電池専用の水素供給技術の実用化研究に着手する。
(9月4日付 化学工業日報)

***富士キメラ総研** 2007年度には液晶、プラズマ、ブラウン管などの表示装置の世界市場が2001年度比約2倍の約9兆円になる市場予測を発表。
(9月5日付 日経産業)

***早稲田大学** 燃料電池車への搭載を目指し、放電で水素を簡単に(低コストで)製造する方式を研究中。
(9月5日付 日経産業)

***ステラケミファ** 次世代の電解質材料として注目中のイオン性液体の市場開拓を加速、電池、自動車メーカーへのサンプルワークを本格化へ。
(9月9日付 化学工業日報)

***日本電池** 自動車電池の販売の効率化とメーカー直結型の市場に対応する為、全国の販売会社を統合、再編を進める。
(9月11日付 日刊工業)

***川崎重工業** 大容量の新型蓄電池の開発に成功した旨を発表した。正負極の電極材で炭素繊維を用いて粒状化した所に特徴があり鉛蓄電池と同等の価格で、ニッケル水素電池以上の高性能を有している。
(9月12日付 日経&化学工業日報)

***鋼管ドラム(NKK子会社)** 燃料電池自動車に搭載する水素燃料タンクの開発を開始、2004年には現行の2倍充填のタンクを発売へ。
(9月12日付 日経)

***産業技術総合研究所 林原** 生物化学研究所と共同で、安価で高性能の有機色素型太陽電池の開発に成功した旨を発表。
(9月11日付 日経産業)

***一次電池** 2002年はデジカメ需要が旺盛で市場は回復基調にある。(9月13日付 日経産業)

***東芝** 放電電流が最大で9600mAと従来の倍の高出力のリチウムイオン電池を開発した。ロボット、アシスト自転車、UPSをターゲットに売り出しを予定。
(9月13日付 日刊工業)

***松下電池工業** 常温で10A、マイナス10℃でも4Aのハイレート放電が可能な単三形ハイパワー用ニッケル水素電池を開発、来春4月から量産を開始する。
(9月16日付 電波)

***産業技術総合研究所 安全** 性に優れたビタミンCの水溶液を燃料に使う小形FCを開発した。
(9月19日付 日経産業)

***松下電器産業** 世界最長の117時間の連続再生を実現したポータブルMDレコーダーを開発、10月10日から発売する。電源は角形ニッケル水素と単三形アルカリ乾電池。(9月23日付 電波)

***DRAM事業** NEC、日立製作所、三菱電機は来年4月にもDRAM事業を集約する方向で最終調整に入る。これにより国内DRAMメーカーは一社になる。
(9月25日付 日経)

***福祉車両** 自動車メーカー各社は、潜在需要が大きい介護を必要とする高齢者等を対象にした福祉車両の開発に注力中。
(9月25日付 日刊工業)

***ダイソーエンジニアリング** 蛍光灯のリサイクル事業を強化する。3年後には処理量年間360万本を処理へ
(9月27日付 日刊工業)

***日立マクセル** 特殊包装を施したトラックを用い、自社製品であるアルカリ乾電池「ダイナミック」の街頭宣伝を開始。
(9月27日付 日経産業)

***エリクソン** 2004年を目処に新製品の鉛フリー化、及びプリント基板向け難燃剤からのハロゲンフリー化を決定した。
(9月30日付 化学工業日報)

経済産業省からのお願い

製造事業所の皆様へ

経済産業省では、工業統計調査を平成14年12月31日現在で実施されます。この調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として行われます。調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、大学や民間の研究機関等においても広く利用されているところです。皆様から提出いただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いいたします。

平成14年 10月度の電池工業会活動概要

部会	10月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議その他	1日～5日	シーテックジャパン2002	*小形二次電池を中心とした電池のリサイクル、使い方の啓蒙
	12日～13日	全国生涯学習フェスティバル(金沢)	*小形二次電池リサイクルの啓蒙と手作り乾電池教室の実施
	18日(金)	広報二次電池WG	*モーターショー準備確認
	18日(金)	広報委員会	*バッテリーショー等を中心としたイベントの進行状況等の確認
	21日(月)	標準化本委員会	*第14.1回 JIS C 8501「マンガン乾電池」改正原案作成の審議
	21日(月)	国際規格回答原案調査作成本委員会	*第14.1回 IEC/TC35(一次電池)国際回答原案の審議
	22日(火)	広報バッテリー賞WG&選考委員会	*バッテリーショー等の進行状況等の確認と選考
	29日～11/3日	東京モーターショー2002(商用車)	*バッテリー早目の交換PRと液面点検の啓発
	30日(水)	広報委員会でんちフェスタWG会議	*企画案の中味とスケジュール、各社分担等の決定
二次電池部会	31日(木)	中央共同募金会への電池の寄贈(15年目)	*全国各施設への電池の寄贈を開始(LR6、3万本)
	1日(火)	産業用電池リサイクル分科会	*産業用電池新リサイクルスキーム審議・申請準備
	1日(火)	(自)市販小委員会	*販路別需要動向について。
	2日(水)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車用電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	3日(木)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*リサイクラー見学・調査
	4日(金)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局・分科会合同	*産業用電池新リサイクルスキーム審議・申請準備
	9日(水)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局・分科会合同	*産業用電池新リサイクルスキーム審議・申請準備
	9日(水)	(自)需要予測小委員会	*10月販売実績確認と動向検討
	10日(木)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車用電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	11日(金)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車用電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	15日(火)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局会議	*産業用電池新リサイクルスキーム審議・申請準備
	15日(火)	自動車鉛分科会	*11月開催国際会議提出資料。H15年度改正案作成JISの方針
	16日(水)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車用電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	17日(木)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車用電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	17日(木)	自動車用電池委員会	*自動車用電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム審議
	17日(木)	電気車用電池統計分科会	*4～6月の実績確認と市場動向の検討
	17日(木)	自動車用電池技術サービス小委員会	*全整連の電気装置整備テキスト(電池)改正案。雑誌記事訂正要求内容
	17日(木)	据置鉛分科会	*SBA改正案の標準化委員会提案資料。9月国際会議出席報告
	21日(月)	産業用電池小委員会	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	21日(月)	小形鉛分科会	*SBA指針改正案の標準化委員会提案資料。コーションラベル表示方法
	21日(月)	用語分科会	*SBA指針「規格票作成マニュアル」制定案。電流値表示(It)について
	21日(月)	電気車鉛分科会	*SBA指針改正案の標準化委員会提案資料。IEC審議状況(まとめ)
	23日(水)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局・分科会合同	*産業用電池リサイクルスキーム審議・申請準備
	23日(水)	産業用電池統計分科会	*平成14年上期の実績確認と市場動向の検討
	24日(木)	36V電池WG(第1回)	*WG設立背景の説明。主査の選任。活動計画。
	25日(金)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車用電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	25日(金)	産業用電池委員会	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	25日(金)	据置アルカリ分科会	*JIS(シール形)制定案の解説内容。IEC規格改正進捗状況の確認。
	28日(月)	資材委員会	*自動車、産業用電池新リサイクルスキーム審議
	29日(火)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車用電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	30日(水)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車用電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	31日(木)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局会議	*産業用電池新リサイクルスキーム審議・申請準備
小形二次電池部会	9日(水)	アルカリ分科会	*事業系用の廃棄実態調査結果報告の確認、回収率算定方法の検討など
	11日(金)	安全性ガイドライン策定WG	*IEEE審議状況、PRBA対応進捗確認。ガイドライン内容審議
	15日(火)	ニカド・ニッケル水素分科会	*ワシントン会議内容の検討、平成15年度JIS規格の改正・制定計画の審議
	16日(水)	リチウム二次分科会	*IEC規格審議、平成15年度JIS規格の改正・制定計画の審議
	21日(月)	再資源化委員会	*各分科会報告、事業系用の廃棄実態調査報告、回収率算定方法の検討
一次電池部会	25日(金)	業務委員会	*小形二次電池の9月度出荷実績、回収率算定用統計の検討等
	2日(水)	循環技術委員会	*11～1月新たな乾電池処理実験を実施することを決定
	16日(水)	器具委員会技術WG委員会	*SBAの見直し(継続)と最終スケジュールの決定
	17日(木)	環境対応委員会	*アルカリ系ボタン電池回収リサイクルの考え方の纏めを実施
	21日(月)	JIS小委員会	*第14.1回 JIS改正原案作成本委員会での審議内容の確認
	21日(月)	IEC小委員会	*第14.1回 国際回答原案調査作成本委員会での審議内容の確認
一次電池部会	22日(火)	一次電池部会	*中国科学物理電源工業協会訪問報告、各委員会活動報告

.....● 新製品ニュース ●.....

用途に応じて2つの光源を選択可能 リチウム2WAYスポーツライトを発売 簡単着脱

松下電器産業(株)と松下電池工業(株)は、一つの反射鏡に異なる2つの光源が付き、用途に応じてそれぞれを使い分けることができるリチウム電池を電源としたサイクルスポーツライト『リチウム2WAYミニ』を9月20日から発売します。

本製品は走行中に路面をしっかりと照らすのに適したクリプトンミニチュア球と、薄暗い時や押し歩き時に補助ライトとして使える高輝度白色LEDの2種類の異なる光を選択できます。反射鏡面は小さな凸凹がらせん状(スパイラル)に配置されているスパイラル反射鏡方式になっており、ムラの少ない照射を実現しました。

また、取付け・取外しはゴムバンドフック方式の採用で工具は不要で、かつワンタッチな簡単着脱ができます。

[特長]

1. クリプトンミニチュア球と高輝度白色LEDの使い分けができる
2. スパイラル反射鏡で照射光が均一
3. ゴムバンドフック方式なので工具不要のワンタッチ着脱
4. 雨の中でも使用可能な防滴構造
5. 軽量・コンパクトだから折りたたみ車にもぴったり



●●●●● 新製品ニュース ●●●●●

2人乗りバッテリー乗用ゴルフカート 日立ハイカート《キャリーECO2》オート&マニュアル走行 日立ハイカート《キャリーECO2M》マニュアル走行 新発売

新神戸電機株式会社(本社:東京都中央区、社長:宮嶋 弘)は、平成14年10月から、2人乗りバッテリー乗用ゴルフカート《キャリーECO2(エコツー)》《キャリーECO2M(エコツーエム)》を全国のゴルフ場に向けて発売します。販売は日立バッテリー販売サービス株式会社(本社:東京都荒川区、社長:星井 利之)が担当し、平成14年度下期の販売台数は200台を見込んでいます。

バッテリー・モータ駆動式ゴルフカート《キャリーECO5》《キャリーECO5M》は、排気ガスの発生がなく、運転時の振動・騒音が少なく、ゴルフ場の自然環境に調和した“環境に優しいゴルフカート”として多くのゴルフ場からご好評をいただいています。

この度、発売する《キャリーECO2》《キャリーECO2M》は2人乗りタイプのバッテリー・モータ駆動式乗用ゴルフカートです。開発はフェアウェイ乗り入れを視野に入れ、軽量化に重点をおいています。セルフプレー、ツーサムプレーまた高齢プレーヤーの増加により、今後のゴルフスタイルとして2人乗り乗用カートでのフェアウェイ乗り入れが注目されています。このようなご要望に応えるため、《キャリーECO2》《キャリーECO2M》を開発しました。

[特長]

1. 軽量タイプですのでフェアウェイ乗り入れの選択が可能です。
2. バッテリー式ですので振動・騒音が少なく排気ガスの発生がありません。
コース内巡回マーシャルカーとしても適しています。
3. カートを停止させると自動的にパーキングブレーキがかかる自動ブレーキシステムを採用しています。
4. 小回り特性2.7mを実現しました。
5. バッテリーはシール式・液式の2種類から選べます。
シール式:補水の必要がなく、メンテナンスが容易です。
液式:より軽量化(約40kg)が図れ、ランニングコストでもお得です。
6. 充電器はカート本体に内蔵されており、充電ケーブルを差し込むだけでバッテリー消費量に応じて適切な量を充電します。
7. 低いステップですので乗り降りが楽、女性プレーヤー、高齢プレーヤーから喜ばれます。

☆納入開始時期

《キャリーECO2》平成15年3月

《キャリーECO2M》平成15年2月



8月度電池および器具販売実績（機械統計）

（平成14年8月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円（本年よりマンガン乾電池の単二がその他に含まれました）

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	530,153	56,712	101%	95%	4,024,077	444,121	99%	95%
全電池合計	529,291	55,464	101%	95%	4,016,974	432,721	99%	95%
一次電池計	395,009	13,821	102%	95%	2,947,219	104,283	99%	99%
マンガン乾電池計	87,728	1,831	92%	80%	712,132	14,259	95%	90%
単一	10,032	527	69%	65%	76,620	3,978	91%	89%
単三	42,215	674	81%	78%	371,754	5,566	91%	85%
その他	35,481	630	123%	100%	263,758	4,715	105%	99%
アルカリ乾電池計	120,860	6,265	99%	90%	841,587	45,288	94%	91%
単三	74,541	3,313	97%	87%	530,695	24,435	92%	86%
単四	27,799	1,327	110%	101%	181,209	8,851	91%	84%
その他	18,520	1,625	91%	87%	129,683	12,002	107%	111%
酸化銀電池	87,674	948	104%	99%	646,328	7,166	99%	98%
リチウム電池	90,278	4,465	111%	108%	695,805	35,235	107%	111%
その他の乾電池	8,469	312	202%	179%	51,367	2,335	162%	164%
二次電池計	134,282	41,643	98%	95%	1,069,755	328,438	98%	93%
鉛電池計	3,281	11,177	89%	87%	26,422	87,376	92%	90%
自動車用	2,046	7,034	96%	90%	14,969	48,595	98%	94%
二輪用	350	698	95%	100%	3,039	5,858	90%	94%
小形シール	713	855	75%	88%	6,699	7,018	82%	83%
その他	172	2,590	78%	76%	1,715	25,905	87%	84%
アルカリ電池計	83,132	9,594	86%	86%	699,154	83,408	90%	90%
完全密閉式	43,014	4,850	83%	93%	334,637	38,302	93%	98%
ニッケル水素	40,085	4,420	89%	78%	364,295	42,252	88%	83%
その他のアルカリ電池	33	324	183%	104%	222	2,854	180%	111%
リチウムイオン電池	47,869	20,872	132%	107%	344,179	157,654	120%	97%
器具計	862	1,248	91%	95%	7,103	11,400	97%	93%
携帯電灯	513	525	83%	92%	3,861	3,909	95%	96%
電池器具	349	723	107%	96%	3,242	7,491	100%	91%

8月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（平成14年8月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	288,405	28,080	105%	98%	2,190,889	223,179	103%	96%
一次電池計	169,511	3,510	108%	102%	1,259,392	26,928	99%	100%
マンガン	47,505	439	111%	116%	404,023	3,847	107%	123%
アルカリ	15,613	395	52%	68%	120,262	2,467	64%	73%
酸化銀	42,230	456	126%	115%	273,274	3,284	100%	96%
リチウム	60,207	2,111	123%	105%	441,624	16,748	108%	101%
空気亜鉛	3,815	93	198%	271%	18,215	388	128%	148%
その他の一次	142	17	36%	56%	1,994	195	30%	57%
二次電池計	118,893	24,569	101%	98%	931,497	196,251	108%	95%
鉛蓄電池	345	644	82%	91%	3,150	5,608	70%	77%
ニカド	38,609	3,337	90%	91%	283,132	25,933	100%	101%
ニッケル鉄	1	0	250%	22%	52	17	23%	58%
ニッケル水素	30,294	2,834	83%	77%	276,661	27,251	89%	73%
リチウムイオン	39,294	16,018	141%	108%	283,799	121,917	137%	102%
その他の二次	10,352	1,737	100%	77%	84,704	15,526	151%	94%
全電池合計（輸 入）	46,296	3,510	118%	114%	341,079	29,712	114%	106%
一次電池計	42,646	1,181	116%	120%	316,241	10,320	118%	122%
マンガン	8,863	114	100%	92%	70,386	992	92%	91%
アルカリ	31,728	644	126%	121%	219,613	4,562	127%	126%
酸化銀	62	1	20%	22%	2,482	52	99%	86%
リチウム	1,300	145	160%	194%	12,682	1,019	175%	132%
空気亜鉛	503	16	110%	97%	2,687	108	115%	111%
その他の一次	190	261	16%	114%	8,390	3,587	164%	128%
二次電池計	3,649	2,329	151%	112%	24,838	19,392	81%	98%
鉛蓄電池	455	1,128	109%	94%	3,774	9,800	105%	100%
ニカド	1,046	475	89%	126%	9,573	3,279	108%	103%
ニッケル鉄	0	0	2%	13%	3	7	41%	31%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の二次	2,149	726	263%	143%	11,488	6,307	63%	94%